

令和2年6月12日（金）

「 防災絵本を吉里吉里学園に贈呈しました 」

震災当時の体験や、災害時の行動について後世に伝えるために復興研究会が制作した防災絵本を、吉里吉里学園に贈呈しました。

6月8日（月）に、越田好葉さん（3年）、中村海鈴さん（3年）が吉里吉里学園中学部を訪れ、防災絵本を贈呈しました。吉里吉里学園の出身である2人はともに美術部に所属しており、この防災絵本のもととなった防災紙芝居の絵コンテや彩色に携わりました。

2人から防災絵本を受け取った浅沼寿典校長は、「震災から9年がたち、生徒たちも防災の意識はあるが経験値がない。この絵本をきっかけに生徒たちにも学んでほしい」と話をしてくれました。また、越田さんと中村さんの中学時代の国語を担当した鈴木さき先生も、防災絵本のどこを手掛けたのか、どこが大変だったかなどを2人に質問をしていました。



また、6月9日（火）には、吉里吉里学園小学部を訪問しました。小学部では、沖館玲子校長と、児童会長の山崎未来さん（6年生）が迎えてくれました。山崎さんは、震災当時2歳でした。自衛隊の方々が風呂を用意してくれたことや、避難所だった体育館で過ごしたことなどを何となく覚えている、と、当時のことを振り返ってくれました。「この絵本を読んで、震災のことをもっと学んでいきたいです。ありがとうございました。」と、2人に感謝の言葉を話してくれました。

